

病態制御医学講座／内科学(3)分野附属病院／第三内科

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	石塚 全	平成24年12月-
准教授	此下 忠志	平成12年6月-
講師	鈴木 仁弥	平成2年6月-平成2年10月 平成9年6月- (平成26年1月-現職)
助教	梅田 幸寛	平成12年4月-平成13年4月 平成16年10月- (平成21年4月-現職)
助教	森川 美羽	平成17年10月- (平成24年4月-現職)
助教	安斎 正樹	平成10年4月-平成11年2月 平成14年4月-平成14年9月 平成21年4月- (平成26年1月-現職)
助教	早稲田 優子	平成29年4月-
特命助教	銭丸 康夫	平成15年7月-平成17年9月 平成23年8月- (平成26年6月-現職)

2. 研究概要

研究概要

【呼吸器グループ】

1. FDG-PETの呼吸器疾患診断への臨床応用

活性化した炎症細胞では、GLUT発現の亢進やHexokinaseの活性化が報告されており、悪性腫瘍以外の炎症性疾患にも集積が見られる。当科では高エネルギー医学研究センターと共同し肺癌のみならず様々な炎症性肺疾患のデータの集積を継続している。

2. 新しいトレーサーを用いたPETによる肺癌診断への応用

腫瘍診断において一般的に用いられているFDGに加え、チミジンのアナログであり細胞増殖のマーカーとなりうる18F-FLTを用いたPET画像の検討を継続中である。

3. MRI、FDG-PET/MRIの呼吸器疾患診療への臨床応用

胸部病変の診断に対するMRIの有用性は、近年、拡散強調画像やSTIR像などの撮像シークエンスの改良によりその有用性は高まっている。当グループでもMRIを肺癌診療に取り入れ、臨床的研究を継続している。さらに免疫チェックポイント阻害薬の治療効果予測におけるFDG-PET/MRIの有用性の検討を実施中である。

4. 仮想気管支鏡と極細径気管支鏡およびガイドシース気管支腔内超音波断層法の有用性の検討

当院では仮想気管支鏡（Virtual Bronchoscopic Navigation）システム、極細径気管支鏡、ガイドシース気管支腔内超音波断層法（EBUS-GS）システム、超音波気管支鏡ガイド下針生検システム（EBUS-TBNA）、等を導入し、それら新しいデバイスの有用性を検討している。

5. 細胞外酸性の慢性気道炎症、気管支喘息の病態へ及ぼす影響に関する研究

ヒト気道上皮細胞およびヒト気管支平滑筋細胞に発現し、細胞外酸性を感知する受容体（プロトン感知性Gタンパク質共役型レセプター）の一つであるOvarian cancer G-protein-coupled receptor 1（OGR1）の気道炎症における役割について基礎的研究を進めている。

6. 非小細胞肺癌に対する2次化学療法に関する臨床試験

非小細胞肺癌に対するアルブミン結合型パクリタキセルの効果と安全性に関する臨床試験を主任研究機関として実施し、試験を終了し、学術論文を発表した（Medicine (Baltimore) 96: 51(e9320), 2017）。

7. 重症・難治性喘息に関する臨床研究

重症喘息患者患者に対する分子標的薬（オマリズマブ、メボリズマブ、ベンラリズマブ）の効果と安全性に関する検討を行っている。また、2015年度に重症喘息に対する新規非薬物療法（気管支サームプラスティ）を国公立大学として国内で最初に実施したが、症例を集積している。また、CT画像を用いて分子標的薬、気管支サームプラスティの気管支壁肥厚などの評価を行っている。気管支サームプラスティに関して施設共同研究にも参加している。

8. コントロール不良糖尿病患者における結核発病リスクに関する研究

HbA1cが7以上の患者（呼吸器内科または内分泌代謝内科入院中）に同意を得たうえでクオンティフェロン検査を行い、目標症例200例の検査を終了した。

【内分泌・代謝グループ】

1. RAS系コンポーネントの遺伝子発現に関する研究を進展させ“アンジオテンシンIV受容体の新規高感度測定系による分子遺伝学的ならびに臨床的評価”について検討。（文部科学省科学研究費補助金 基盤研究）

2. 日本学術振興会二国間交流事業協同研究「子癰前症の早期診断に関連する諸因子に及ぼすHIV感染の影響」を南アフリカ共和国と実施。（JSTプロジェクト）

3. “ゲノム情報を活用した糖尿病の先駆的診断・治療法の開発研究”（独立行政法人医薬基盤研究所 保健医療分野における基礎研究推進事業研究プロジェクト）分担分（2005年～2010年）で得られた成果について、発展的に継続。

4. 共同研究体、Genomic Disease Outcome Consortium（G-DOC）Study InvestigatorsをUMIN-CTRに登録し遺伝子コホート研究を展開。

5. “脂肪心筋”の病態生理と治療法に関する研究：

肥満・糖尿病患者で認められる“脂肪心筋”が心機能を障害するメカニズムは十分に解明されていない。我々は脂肪滴関連蛋白Perilipin（PLIN）2に着目し、PLIN2が脂肪心筋の発生と心機能に与える影響をtransgenic/knockoutマウスを作製して解析している。近年、PLIN2過剰発現による脂肪心筋は心房細動を誘発することを発見し、そのメカニズムを報告した。また、高度の脂肪心筋をきたして早期に心不全に至るATGL欠損マウスを用いて、脂肪心筋に対する遺伝子治療や薬物治療の効果を検討している。これらの研究により生活習慣病患者に合併する“脂肪心筋”の病態生理を解明し、その予防法、治療法を確立することが目標である。

6. 心筋のエネルギー代謝に関する研究：

心筋はグルコースと脂肪酸を主なエネルギー源として利用するが、糖尿病、肥満症や飢餓状態では脂肪酸を主なエネルギー源とする。しかし過度の脂肪酸利用はミトコンドリアなどに負荷を与えるため、心筋細胞は遺伝子レベルで様々な防御機構を働かせている。我々はマイクロアレイの解析から脂肪酸利用に反応して誘導される酵素群を抽出し、それらの機能をTg/KOマウスモデルを用いて解析している。中でもケトン合成酵素HMG-CoA synthaseのmRNAが絶食や脂肪酸負荷で著明に増加することに着目し、心筋特異的過剰発現マウスを作製して解析している。

7. 糖尿病管理に関する臨床研究：

糖尿病血管障害の抑制には食後高血糖管理が重要であるが、入院インスリン治療者の約80%では食後1時間血糖値は十分に管理されていない。食後血糖値の完全なる正常化を目指して、インスリン、インクレチン製剤や各種内服薬により食後早期の血糖上昇を抑制する方法を検討している。また、続血糖モニタリングシステム（CGMS）を応用した新たな糖尿病管理法を探索している。

キーワード

【呼吸器グループ】肺がん診断、間質性肺炎診断、PET、MRI、仮想気管支、極細径気管支鏡、肺がん治療、重症気管支喘息、分子標的薬、気管支サームプラスティ、プロトン、慢性気道炎症

【内分泌・代謝グループ】糖尿病学、高血圧学、内分泌代謝学、動脈硬化学、メタボリックシンドローム、レニン-アンジオテンシン系、レニン遺伝子、遺伝子多型、脂肪心筋（症）、糖尿病性心筋症、遺伝子多型脂肪心筋（症）、糖尿病性心筋症、エネルギー代謝

業績年の進捗状況

【呼吸器グループ】

1. 疾患活動性評価の難しい特発性間質性肺炎の診断・予後評価に2相FDG-PETが有用であることをEur J Nucl Med Mol Imagingに報告した。さらに症例を蓄積し、早期像と遅延像でのFDGの集積の変化率が長期生命予後に関連することを検証した。この内容を欧州呼吸器学会(Barcelona 2013)で発表し、その成果がJ Nucl Med誌に掲載された(Umeda Y. et al. J Nucl Med 56: 1869-75, 2015)。
2. 間質性肺炎の治療早期効果判定への2相FDG-PET画像の有用性に関する検討を2012年度から開始し現在症例集積中である。
3. これまで我々は当施設の高エネルギー医学研究センターと共同して肺癌におけるFLT-PET画像所見と無増悪生存期間と全生存期間の関係を検討し、日本肺癌学会総会(京都 2014)で報告した。全身化学療法による血液毒性の予測因子としての脊髄へのFLT集積の有用性について、日本呼吸器学会(大阪)で発表し、現在学術誌への投稿中である。
4. 放射線科、呼吸器外科と合同で、FDG-PETとMRIの肺癌に対する化学療法の効果判定における有用性について検証し、学術誌に掲載された(J Magn Reson Imaging 38:80-88, 2013)。
5. 免疫チェックポイント阻害薬の治療効果予測におけるFDG-PET/MRIの有用性を評価するために症例集積中で、学会発表を予定している。
6. 当院の肺野末梢病変における極細気管支鏡と仮想気管支鏡との組み合わせによる診断率の検討を全国他5つの施設と多施設共同研究し、学術誌に掲載された(Am J Respir Crit Care Med 188:327-333, 2013)。
7. また、当院での仮想気管支鏡とガイドシース気管支腔内超音波断層法(EBUS-GS)システムによる小型肺結節の診断能に関わる因子を検討し、FDG集積の程度とCT上の関与気管支の有無が重要であることを検証し、報告した(Lung Cancer 85: 47-52, 2014)。さらに、現在前向き研究として肺の良性・悪性の末梢病変に対して気管支鏡診断とPET所見の解析を行っている。
8. ヒト気道上皮細胞株、およびヒト気管支平滑筋細胞を用いて、細胞外酸性で変動する遺伝子(mRNA)を網羅的に解析した。ヒト気管支平滑筋細胞から細胞外酸性刺激によって分泌されるIL-8産生について、関与する細胞内シグナル伝達経路とステロイドによるIL-8産生抑制効果について研究を進め、論文投稿準備中である。
9. 免疫チェックポイント阻害薬使用後のアルブミン結合型バクリタキセル単剤療法の有効性と安全性に関する第二相試験を開始し、症例を集積している。
10. 気管支サーマブラスティ、分子標的薬の効果の評価に関して、日本呼吸器病学会学術講演会(大阪)日本呼吸器内視鏡学会(東京)で発表した。現在症例を集積中である。
11. コントロール不良糖尿病の結核発病リスクに関する研究を本年度、日本呼吸器学会学術講演会(京都)、日本結核病学会総会(金沢)で発表し、現在、論文の投稿準備中である。

【内分泌・代謝グループ】

これまで網羅的トランスクリプトーム解析により、糖尿病/高血圧を識別しうる比較的明確なクラスター形成を得たのち、Gene Ontology、Pathway 解析から angiotensin II 消去系全般の発現低下が示唆され、real-time PCRでの解析を完了し、AT4について可溶部分に対し抗体を設定し測定系を構築、測定条件の適正化も完了し実測し一定の成績を得てきたが、この後継研究として新規の文部科学省科学研究費補助金を得て、この高感度測定系のキットの作成を継続している。

これまでヒトレニン遺伝子転写調節機序解析による知見など(Kidney Int 1996, J Cell Biochem 2004, J Cell Biochem 2007)に基づき、Ca拮抗薬におけるレニン-アンジオテンシン系活性化の程度を検討し(J Hypertens 2010)、Caチャネル遮断薬の特性を比較評価し抗アルブミン尿効果の差異を解明(Int J Cardiol 2013)。さらに継続して地域協力病院との大規模コホート(G-DOC Study Investigators)を用い、遺伝子転写レベルの研究からのトランスレショナルスタディとしての臨床研究を展開し、レニン遺伝子型についてゲノム薬理学的な成績を報告したが(Diabetes Care 2009, Curr Hypertens Rep 2011)、さらに血漿濃度との関係を明らかにした(Medicine 2014)。また、グループの市川らは糖尿病有病率と関連する遺伝子として、レニン-アンジオテンシン系のうち、アルドステロン合成酵素の意義を明らかにした(Acta Diabetologica 2014)。大学院生の牧野によりレニン遺伝子型による組織発現量の関係が明らかとされた(Plos One 2015)。2015年度に日本学術振興会二国間交流事業による南アフリカ、クワズルナタール大学から大学院生が1名来日約3か月滞在し、所定の実験を実施し完了したが、その成果を3本の論文にまとめ投稿中である。また、レニン-アンジオテンシン系に関連した臨床研究として、ARBへのN型Caチャネルの降圧薬としての効果についての論文を国際的学術誌に掲載している(Biosci Rep 2016)。

脂肪心筋が不整脈を誘発する病態生理を解明するため、心筋特異的PLIN2過剰発現マウスを用いて解析を行っている。心筋PLIN2の過剰発現による脂肪心筋がギャップジャンクション蛋白コネクシン43の細胞内局在性を変化させるメカニズムを解明するため、心筋脂質のリビドーム解析を行った。その結果、PLIN2による脂肪心筋では21種類のトリグリセリドと2種類のジアシルグリセロールが増加し、2種類のフォスファチジルエタノールアミンが減少していることを発見し、日本糖尿病学会および日本動脈硬化学会にて報告した(佐藤)。さらにPLIN2による脂肪心筋はGLP-1アゴニストのデュラグルチドで著明に改善することを同学会にて報告した(鈴木)。

特色等

【呼吸器グループ】

PET研究をはじめ総合画像診断の分野では当大学が最先端を走っており、呼吸器疾患の分野においても、当大学の高エネルギーセンターとの共同研究のもと、当グループによる研究成果が国内外で評価され、論文発表に繋がってきている。とくに、肺癌診断のみならず、他の肺疾患においても、PET画像やMRI画像による質的診断が有用であることが明らかとなり、新しい診断技術の開発に繋がっている。平成22年度から、本学高エネルギー医学研究センターと共同で肺癌の診断・治療反応性・予後評価におけるFLT-PETの有用性に関する検討も開始している。現在、18F-FLTをトレーサーとして用いることができる施設は限られ、肺癌における報告も世界的に見て限られており、本研究は非常に先駆的な内容である。さらに、高エネルギー医学研究センターにPET/MRIが導入され、肺がんの免疫チェックポイント阻害薬の効果予測に関する研究を開始した。

肺癌治療における組織型診断は、個別化治療の進歩に伴ってより重要となっており、各種気管支鏡による診断率の向上は重要である。当施設は気管支鏡診断の技術は全国でもトップクラスであり、実臨床において必要な肺癌診断に対し、高い診断率を誇っている。

気管支喘息の管理は吸入ステロイド薬を中心とした標準的治療法により飛躍的に改善したが、治療抵抗性の難治性喘息の病態の解明、COPDと喘息の合併患者の治療、管理、新規治療の開発は重要である。

【内分泌・代謝グループ】

1. 国外機関の共同研究 RA系遺伝子のクローニングやACE遺伝子多型の発見と応用など、国際的な第一人者であるフランス国立医学研究所College de FranceのCorvol教授を中心としたグループ(仏 パスツール研究所、米 Emory Universityを含む)との共同研究を継続。南アフリカ共和国クワズルナタール大学との国際交流共同研究を展開。
2. 関連病院との共同研究 全国10都府県、40施設にわたる共同研究、Genomic Disease Outcome Consortium (G-DOC) Study InvestigatorsとしてUMINIに登録して活動。
3. 学会診療ガイドライン作成への関与。
4. 脂肪心筋の病態生理に関して、米国Stanford大学内科・内分泌代謝学Kraemer教授研究室と共同研究を継続している。

本学の理念との関係

【呼吸器グループ】

- 1) トランスレショナルリサーチ(基礎的な研究成果の臨床応用)に繋がる研究を行っている。
- 2) 呼吸器疾患の新たな画像診断技術の創設に寄与している研究と考えられる。

【内分泌・代謝グループ】

福井大学の重点領域の1つである「生体における分化・増殖などの情報伝達・制御機構、高次生体システムの発達・構築とその維持機構、及びそれらの異常の解明を通じ、生まれ、健やかに育ち、老いる過程に関する世界的に優れた研究を行う」に該当。

3. 研究実績

区分		編数	インパクトファクター(うち原著のみ)
		2017年分	2017年分
和文原著論文		2	—
	ファーストオーサー	4	8.79 (6.063)
	コレスポンディングオーサー	0	0 (0)
	その他	10	40.15 (40.15)
英文論文	合計	14	48.94 (46.213)

- (A) 著書・論文等
- (1) 英文：著書等
- a. 著書
- b. 著書(分担執筆)
- c. 編集・編集・監修

(2) 英文：論文等

a. 原著論文（審査有）

- 1730001** Aung M, Konoshita T, Moodley J, Gathiram P: Association of gene polymorphisms of four components of renin-angiotensin-aldosterone system and preeclampsia in South African black women, *Eur J Obst Gynecol Reprod Biol*, 215, 180-187, 201801, #1.666
- 1730002** Ueno M, Suzuki J, Hirose M, Sato S, Imagawa M, Zenimaru Y, Takahashi S, Ikuyama S, Koizumi T, Konoshita T, Kraemer F, Ishizuka T: Cardiac overexpression of perilipin 2 induces dynamic steatosis: prevention by hormone-sensitive lipase, *Am J Physiol Endocrinol Metab*, 313, e699-e709, 20171201, #4.142
- 1730003** Kaira K, Yanagitani N, Sunaga N, Imai H, Ono A, Koga Y, Hisada T, Ishizuka T, Yamada M: Prospective exploratory study of gemcitabine and S-1 against elderly patients with advanced non-small cell lung cancer, *Oncol Lett*, 14, 1123-1128, 201707, #1.39
- 1730004** Takabayashi T, Imoto Y, Sakashita M, Kato Y, Tokunaga T, Yoshida K, Narita N, Ishizuka T, Fujieda S: Nattokinase, Pro fibrinolytic enzyme, effectively shrinks the nasal polyp tissue and decreases viscosity of mucus, *Allergol Int*, 66, 594-602, 201710, #3.194
- 1730005** Saeki K, Watanabe S, Waseda Y, Kasahara K: Endobronchial lesions of mycobacterium abscessus infection in an immunocompromised patient, *Am J Respir Crit Care Med*, 195, e37-e38, 20170501, #13.204
- 1730006** Mizushima I, Yamada K, Harada K, Matsui S, Saeki T, Kondo S, Takahira M, Waseda Y, Hamaguchi Y, Fujii H, Yamagishi M, Kawano M: Diagnostic sensitivity of cutoff values of IgG4-positive plasma cell number and IgG4-positive/CD138-positive cell ratio in typical multiple lesions of patients with IgG4-related disease, *Mod Rheumatol*, 28(2), 293-299, 20180328, #1.818
- 1730007** Tsujiguchi H, Hori D, Kambayashi Y, Hamagishi T, Asakura H, Mitoma J, Kitaoka M, Orlando AE, Thao NTT, Yamada Y, Hayashi K, Konoshita T, Sagara T, Shibata A, Nakamura H: Sex- and age-specific associations of social status and health-related behaviors with health check attendance: findings from the cross-sectional Kanazawa Study, *Health*, 9, 1285-1300, 201708, #0.986
- 1730008** Asano F, Ishida T, Shinagawa N, Sukoh N, Anzai M, Kanazawa K, Tsuzuku A, Morita S: Virtual bronchoscopic navigation without X-ray fluoroscopy to diagnose peripheral pulmonary lesions, a randomized trial. *BMC Pulm Med*, 17(1), 184-184, 20171211, #2.435
- 1730009** Ookura M, Fujii T, Yagi H, Ogawa T, Kishi S, Hosono N, Shigemi H, Yamauchi T, Ueda T, Yoshida A: YM155 exerts potent cytotoxic activity against quiescent(Go/G1) multiple myeloma and bortezomib resistant cells via inhibition of survivin and Mcl-1, *Oncotarget*, 8(67), 111535-111550, 20171204, #5.168
- 1730010** Mizuno S, Ishizaki T, Kadowaki M, Akai M, Shiozaki K, Iguchi M, Oikawa T, Nakagawa K, Osanai K, Toga H, Gomez-Arroyo J, Kraskauskas D, Cool CD, Bogaard HJ, Voelkel NF: Signaling Pathway Polymorphisms Associated With Emphysematous Changes in Patients With COPD., *Chest*, 152, 58-69, 201707, #6.147
- 1730011** Anzai M, Morikawa M, Okuno T, Umeda Y, Demura Y, Sonoda T, Yamaguchi M, Kanno K, Shiozaki K, Ameshima S, Akai M, Ishizuka T: Efficacy and safety of nanoparticle albumin-bound paclitaxel monotherapy as second-line therapy of cytotoxic anticancer drugs in patients with non-small cell lung cancer, *Medicine (Baltimore)*, 96, e9320-e9320, 20171122, #1.804
- 1730012** Honjoh C, Chihara K, Yoshiki H, Yamauchi S, Takeuchi K, Kato Y, Hida Y, Ishizuka T, Sada K: Association of c-type lectin muncle with FcεRIβγ subunits leads to functional activation of RBL-2H3 cells through Syk, *Sci Rep*, 7, 46064-46064, 20170410, #4.259

b. 原著論文（審査無）

c. 原著論文（総説）

- 1730013** Shigemi H: Highlights in Mucosal Immunology, *J Mucosal Immunol Res*, 1, e104-e104, 20171115
- 1730014** Shigemi H: View of clinical microbiology and infectious diseases, *J Clin Microbiol Infect Dis*, 1(1), 20171017, #2.727

d. その他研究等実績（報告書を含む）

e. 国際会議論文

(3) 和文：著書等

a. 著書

- 1730015** 此下忠志：痛風と核酸代謝 41, 231-232, 20171220
- 1730016** 此下忠志：福井大学病院の得意な治療がわかる本 最高・最新の医療を安心と信頼の下で，バリューメディカル，28-29, 20170731
- 1730017** 石塚 全：福井大学病院の得意な治療がわかる本 最高・最新の医療を安心と信頼の下で，バリューメディカル，33, 20170731
- 1730018** 石塚 全：呼吸器疾患診断治療アプローチ 気管支喘息，中山書店，344-349, 20170621

b. 著書（分担執筆）

- 1730019** 松岡紗恵，細野菜穂子，松田安史，大岩加奈，大蔵美幸，田居克規，安齋正樹，根本朋幸，石塚 全，中本安成，山内高弘：病勢に伴い多発肺病変を繰り返した多発性骨髄腫：臨床血液 58, 2406-2410, 20171201
- 1730020** 渡辺和良，早稲田優子，高戸葉月，松岡寛樹，笠原寿郎：クリゾチニブ使用後アクレチニブに奏効せずセリチニブが奏効したALK遺伝子陽性肺癌：日本呼吸器学会誌 6, 278-282, 20170425
- 1730021** 岩崎博通，重見博子：グローバル化・温暖化と感染症対策Ⅱ 各論 節足動物媒介感染症：小児科臨床 70, 日本小児医事出版社，2220-2225, 20171220
- 1730022** 銭丸康夫，此下忠志：糖尿病の最新の診療：福井大学医学部附属病院 編著：福井大学病院の得意な治療がわかる本 最高・最新の医療を安心と信頼の下で，バリューメディカル，28-29, 20170731
- 1730023** 鈴木仁弥，此下忠志：脂質異常症—動脈硬化を起こさない！最新の治療を：福井大学医学部附属病院 編著：福井大学病院の得意な治療がわかる本 最高・最新の医療を安心と信頼の下で，バリューメディカル，27, 20170731
- 1730024** 梅田幸寛，石塚 全：間質性肺炎の最新治療：福井大学医学部附属病院 編著：福井大学病院の得意な治療がわかる本 最高・最新の医療を安心と信頼の下で，バリューメディカル，32, 20170731
- 1730025** 森川美羽，石塚 全：症状をゼロに一気管支ぜんそく、肺の生活習慣病COPD：福井大学医学部附属病院 編著：福井大学病院の得意な治療がわかる本 最高・最新の医療を安心と信頼の下で，バリューメディカル，30-31, 20170731

c. 編集・編集・監修

(4) 和文：論文等

a. 原著論文（審査有）

1730026

山口牧子, 田畑未央, 出村芳樹, 奥野雄大, 多田利彦, 菅野貴世史, 塩崎晃平, 赤井雅也: 肺癌N因子診断における超音波気管支鏡下生検時の超音波画像所見の有用性, 気管支支, 40(2), 111-116, 20180325

1730027

浦邊真知, 帰山沙織, 中屋隆裕, 山田実夏, 市川麻衣, 佐藤さつき, 今川美智子, 藤井美紀, 牧野耕和, 銭丸康夫, 鈴木仁弥, 此下忠志: 糖代謝障害の進展と血清尿酸値, 痛風と核酸代謝, 41(1), 78-79, 20170725

b. 原著論文（審査無）

c. 総説

1730028

園田智明, 北園聡, 西尾誠人: 免疫チェックポイント阻害薬, 診断と治療 別冊, 105(11), 1445-1450, 20171101

1730029

石塚全: 気管支喘息患者のQOLに影響する因子, アレルギー・免疫, 24(8), 1146-1154, 20170815

1730030

此下忠志: 心血管病予防のための生活習慣病診療—人工血液透析患者さん増加の歯止めに向けて, 日本予防医学会雑誌, 11(3), 87-92, 20170831

1730031

此下忠志, 浦邊真知: 尿酸とメタボリックシンドローム・高血圧—レニン—アンジオテンシン系の関与, 高尿酸血症と痛風, 25(2), 111-116, 20170920

d. その他研究等実績（報告書を含む）

e. 国際会議論文

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

1730032

杉山光寿, 森川美羽, 梅田幸寛, 佐藤謙之, 中嶋康貴, 三ツ井美穂, 島田昭和, 山口牧子, 本定千知, 門脇麻衣子, 重見博子, 早稲田優子, 安齋正樹, 石塚 全: 気管支喘息発作治療中にたこつぼ心筋症を合併した一例 Takotsubo Cardiomyopathy Following Treatment of Asthma Attack., 第27回国際喘息学会日本・北アジア部会, 熊本, 20171005

1730033

Waseda Y, Carmen Haider, Watanabe S, Helmut Prosch, Christian Herold, Takato H, Ichikawa Y, Watanabe K, Yasui M, Kasahara K, Ishizuka T, and Christopher Lambers: Comparison of reduction ratio of the native fibrotic lung of PPFE with or without single lung transplantation., European Respiratory Society2017, Milan(ITA), 20170913

1730034

Shigem H, Itoh K, Muroi Y, Tai K, Fujitomo Y, Fujita N, Ueda T, Yamauchi T, Iwasaki H: A retrospective analysis of spreading 2014/2015 influenza and 2015/2016 influenza infection in our facility., The 4th International Conference on Prevention & Infection Control (ICPIC), Geneva(CHE), 20170620

1730035

Ichikawa M, Konoshita T, Urabe M, Kaeriyama S, Nakaya T, Yamada M, Yamamoto K, Sato S, Imagawa M, Makino Y, Fujii M, Zenimaru Y, Suzuki J: An association study between a novel component of the renin-angiotensin system, Chromosome 9 Open Reading Frame 3 (O9orf3) and prevalence of hypertension among subjects with type 2 diabetes mellitus., 27th European Meeting on Hypertension, Milan(ITA), 20170616

1730036

Konoshita T, Kaeriyama S, Urabe M, Nakaya T, Yamada M, Ichikawa M, Sato S, Yamamoto K, Imagawa M, Fujii M, Makino Y, Zenimaru Y, Suzuki J: Genetic variant of angiotensin iv receptor (AT4) and plasma angiotensin II concentration., 27th European Meeting on Hypertension, Milan(ITA), 20170616

e. 一般講演

f. その他

(2) 国内学会（全国レベル）

a. 招待・特別講演等

1730037

石塚全: 気管支喘息の診断と治療, 日本内科学会生涯教育講演会Aセッション, 新潟, 20170924

1730038

佐藤謙之, 本定千知, 森川美羽, 石塚 全, 高林哲司, 藤枝重治: 嗅覚障害を伴い喘息症状コントロールが不良な60歳代女性, 第66回日本アレルギー学会学術大会, 東京, 20170616

b. シンポジスト・パネリスト等

1730039

門脇麻衣子, 本定千知, 梅田幸寛, 森川美羽, 安齋正樹, 山田秀典 齊藤 悠, 久田剛志, 岡島史和, 石塚 全: 細胞外pHの低下によるヒト気管支平滑筋細胞からのIL-8産生亢進の転写調節機序とステロイドの抑制効果, 第66回日本アレルギー学会学術大会, 東京, 20170617

1730040

森川美羽, 安齋正樹, 三ツ井美穂, 島田昭和, 本定千知, 門脇麻衣子, 梅田幸寛, 鈴木慎吾, 石塚 全: 気管支サモンプラスティの治療効果における画像的解析の検討, 第66回日本アレルギー学会学術大会, 東京, 20170616

1730041

早稲田優子, 渡辺知志, 高戸葉月, 松沼亮, 市川由加里, 渡辺和良, 安井正英, 笠原寿郎, 石塚全, Helmut Prosch, Herold Christian: Pleuroparenchymal fibroelastosis (PPFE) 患者における片肺移植の有無での線維化肺の縮小率の検討, 第57回日本呼吸器学会学術講演会, 東京, 20170421

1730042

石塚全: 気管支鏡喘息の診断と治療, 第57回日本呼吸器学会総会, 気管支鏡喘息の診断と治療, 東京, 20170421

c. 一般講演（口演）

1730043

重見博子, 今川美智子, 鈴木仁弥, 田居克規, 伊藤和広, 此下忠志, 山内高弘, 石塚 全, 岩崎博道: 本院におけるHIV感染者通院患者への投薬の変遷と合併症の現状解析, 第31回日本エイズ学会総会, 東京, 20171124

1730044

重見博子, 田居克規, 伊藤和弘, 山内高弘, 岩崎博道: ダニ媒介感染症における小児治療の文献的後方視的解析, 第65回日本化学療法学会西日本支部総会, 長崎, 20171026

1730045

重見博子, 室井洋子, 田居克規, 伊藤和弘, 山田健太, 山内高弘, 早稲田優子, 石塚 全, 岩崎博道: 院内インフルエンザ感染報告と県内感染状況の関連性の後方視的解析, 第87回日本感染症学会西日本地方会, 長崎, 20171026

1730046

園田智明, 柳谷典子, 有安 亮, 神山潤二, 青木雅史, 川嶋庸介, 高野夏希, 小栗知世, 西川晋吾, 北園 聡, 堀池 篤, 大柳文義, 海原和巳, 西尾誠人: 血漿EGFR-T790M陽性例の臨床的特徴, 第58回日本肺癌学会学術集会, 横浜, 20171014

業績一覧

- 1730047** 梅田幸寛, 三ツ井美穂, 島田昭和, 森川美羽, 門脇麻衣子, 安齋正樹, 飴嶋慎吾, 辻川哲也, 清野 泰, 岡沢秀彦, 石塚 全: 既治療非小細胞肺癌に対するニボルマブ[®]療法の効果予測におけるFDG-PET/MRIの有用性の検討, 第58回日本肺癌学会学術集会, 横浜, 20171014
- 1730048** 此下忠志, 埴山沙織, 浦邊真知, 中屋隆裕, 山田実夏, 市川麻衣, 山本勝司, 佐藤さつき, 今川美智子, 牧野耕和, 銭丸康夫, 鈴木仁弥: アンジオテンシンIV 受容体(AT4) 遺伝子多型と血漿アンジオテンシンII濃度, 第40回日本高血圧学会総会, 松山, 20171020
- 1730049** 佐藤さつき, 鈴木仁弥, 弘瀬雅教, 中屋隆裕, 山本勝司, 山田実夏, 市川麻衣, 今川美智子, 藤井美紀, 銭丸康夫, 生山祥一郎, 高橋貞夫, 石塚 全, 此下忠志: “脂肪心筋”が心房細動を誘発するメカニズムの解析, 第60回日本糖尿病学会年次学術集会, 名古屋, 20170518
- 1730050** 市川麻衣, 浦邊真知, 埴山沙織, 中屋隆裕, 山田実夏, 山本勝司, 佐藤さつき, 今川美智子, 藤井美紀, 牧野耕和, 銭丸康夫, 鈴木仁弥, 石塚 全, 此下忠志: レニン-アンジオテンシン系新規コンポーネント, C9orf3多型と糖尿病における高血圧有病率との関連解析, 第60回日本糖尿病学会年次学術集会, 名古屋, 20170518
- 1730051** 此下忠志, 埴山沙織, 浦邊真知, 中屋隆裕, 山田実夏, 市川麻衣, 佐藤さつき, 今川美智子, 藤井美紀, 牧野耕和, 銭丸康夫, 鈴木仁弥: Insulin regulated aminopeptidase/Angiotensin IV receptor (IRAP/AT4) 遺伝子多型と血中angiotensin II 濃度, 第60回日本糖尿病学会年次学術集会, 名古屋, 20170518
- d. 一般講演 (ポスター)**
- 1730052** 佐藤さつき, 浦邊真知, 埴山沙織, 中屋隆裕, 山本勝司, 山田実夏, 市川麻衣, 今川美智子, 藤井美紀, 森川美羽, 梅田幸寛, 銭丸康夫, 安齋正樹, 鈴木仁弥, 石塚 全, 此下忠志: ニボルマブを投与した非小細胞肺癌患者における甲状腺機能の変化について, 第60回日本甲状腺学会学術集会, 別府, 20171005
- 1730053** 佐藤さつき, 鈴木仁弥, 弘瀬雅教, 浦邊真知, 埴山沙織, 中屋隆裕, 山田実夏, 市川麻衣, 今川美智子, 藤井美紀, 銭丸康夫, 生山祥一郎, 高橋貞夫, 此下忠志, 石塚 全: “脂肪心筋”が心房細動を誘発するメカニズムの解析, 第49回日本動脈硬化学会総会・学術集会, 広島, 20170706
- 1730054** 今川美智子, 重見博子, 埴山沙織, 浦邊真知, 中屋隆裕, 山田実夏, 市川麻衣, 山本勝司, 佐藤さつき, 藤井美紀, 銭丸康夫, 鈴木仁弥, 山内高弘, 此下忠志, 石塚 全: 健診受診者と内泌・代謝内科外来患者における高尿酸血症と脂質異常症の相関性の後方視的解析, 第49回日本動脈硬化学会総会・学術集会, 広島, 20170706
- 1730055** 銭丸康夫, 鈴木仁弥, 佐藤さつき, 浦邊真知, 埴山沙織, 中屋隆裕, 山田実夏, 市川麻衣, 今川美智子, 此下忠志, 石塚 全: 心筋特異的HMG-CoA synthase 2過剰発現が心臓のケトン体含量に与える影響, 第49回日本動脈硬化学会総会・学術集会, 広島, 20170706
- 1730056** 鈴木仁弥, 佐藤さつき, 浦邊真知, 埴山沙織, 中屋隆裕, 山田実夏, 市川麻衣, 今川美智子, 銭丸康夫, 弘瀬雅教, 此下忠志, 石塚全: Adipose triglyceride lipase欠損マウスの“脂肪心筋”に対するホルモン感受性リパーゼ過剰発現の効果, 第49回日本動脈硬化学会総会・学術集会, 広島, 20170706
- 1730057** 銭丸康夫, 鈴木仁弥, 佐藤さつき, 中屋隆裕, 山田実夏, 市川麻衣, 山本勝司, 今川美智子, 藤井美紀, 此下忠志, 石塚 全: 心筋HMG-CoA synthase 2の過剰発現は心臓のケトン体含量を増加させる, 第60回日本糖尿病学会年次学術集会, 名古屋, 20170518
- 1730058** 浦邊真知, 埴山沙織, 中屋隆裕, 山田実夏, 市川麻衣, 佐藤さつき, 今川美智子, 藤井美紀, 牧野耕和, 銭丸康夫, 鈴木仁弥, 此下忠志: メタボリックシンドローム進展の観点からみた血糖値と尿酸値との関係について, 第60回日本糖尿病学会年次学術集会, 名古屋, 20170518
- 1730059** 門脇麻衣子, 三ツ井美穂, 島田昭和, 本定千知, 梅田幸寛, 森川美羽, 安齋正樹, 飴嶋慎吾, 山田秀典, 斉藤悠, 久田剛志, 岡島史和, 石塚 全: 細胞外pH低下によるヒト気管支平滑筋細胞のIL-8産生に対するステロイドの効果, 第57回日本呼吸器学会総会, 東京, 20170421
- 1730060** 本定千知, 千原一泰, 吉木はつみ, 山内翔太, 竹内健司, 加藤雄士, 飛田征夫, 石塚全, 定清直: マスト細胞におけるC型レクチンMincleの機能解析, 第57回日本呼吸器学会総会, 東京, 20170421
- 1730061** 森川美羽, 安齋正樹, 三ツ井美穂, 島田昭和, 本定千知, 門脇麻衣子, 梅田幸寛, 飴嶋慎吾, 石塚全: 全身麻酔科における気管支サーモブラスティの検討, 第57回日本呼吸器学会総会, 東京, 20170421
- 1730062** 梅田幸寛, 出村芳樹, 安齋正樹, 三ツ井美穂, 島田昭和, 本定千知, 森川美羽, 門脇麻衣子, 飴嶋慎吾, 石塚全: 肺癌のN診断におけるEBUS-TBNA所見とCT及びFDG-PE所見の異違に関する検討, 第57回日本呼吸器学会総会, 東京, 20170421
- e. 一般講演**
- 1730063** 重見博子, 室井洋子, 田居克規, 伊藤和広, 山内高広, 石塚 全, 岩崎博道: インフルエンザ院内感染時の手指衛生の重要性についての後方視的解析, 第33回日本環境感染学会総会, 東京, 20180223
- 1730064** 島田昭和, 早稲田優子, 佐藤譲之, 杉山光寿, 中嶋康貴, 三ツ井美穂, 山口牧子, 本定千知, 門脇麻衣子, 重見博子, 梅田幸寛, 森川美羽, 安齋正樹, 石塚 全, 飴嶋慎吾: 吸入抗原が原因と考えられた急性過敏性肺炎の一例, 第48回日本職業・環境アレルギー学会総会・学術大会, 福井, 20170630
- 1730065** 石塚全: 気管支喘息の診断と治療, 日本内科学会生涯教育講演会Aセッション, 大阪, 20170521
- f. その他**
- (3) 国内学会 (地方レベル)**
- a. 招待・特別講演等**
- 1730066** 森川美羽: 意識されていますか? ~誰も働きやすい環境づくりをめざして, 第78回呼吸器合同北陸地方会 男女共同参画セッション, 新潟, 20170527
- b. シンポジスト・パネリスト等**
- c. 一般講演 (口演)**
- 1730067** 岡田 晃吾, 佐々木 正人, 左近 佳代, 安齋 正樹, 佐藤 譲之, 杉山 光寿, 中嶋 康貴, 三ツ井 美穂, 島田 昭和, 本定 千知, 門脇 麻衣子, 重見 博子, 森川 美羽, 梅田 幸寛, 早稲田 優子, 石塚 全, 今村 好章: 気管支発生原発性肺癌との鑑別に難渋した, 気管支内過誤腫の1切除例, 第72回日本肺癌学会北陸支部学術集会, 福井, 20170708
- 1730068** 重見博子, 田居克規, 伊藤和広, 石塚 全, 岩崎博道: 脳腫瘍と多発性皮下膿瘍を主訴としたGladophialophora Bantianaの1例, 第3回医真菌学会東海・北陸地方会 , 名古屋, 20170127
- 1730069** 中嶋康貴, 森川美羽, 本定千知, 佐藤譲之, 杉山光寿, 三ツ井美穂, 梅田幸寛, 早稲田優子, 安齋正樹, 石塚全: アレルギー性気管支肺真菌症との鑑別に難渋した薬剤性肺障害の1例, 第234回日本内科学会北陸地方会, 福井, 20180318
- 1730070** 佐藤譲之, 早稲田優子, 安齋正樹, 杉山光寿, 中嶋康貴, 三ツ井美穂, 島田昭和, 山口牧子, 本定千知, 門脇麻衣子, 重見博子, 森川美羽, 梅田幸寛, 石塚 全, 松田安史: 二度の気管支鏡にて診断し得た骨髓異形成症候群に合併した肺胞蛋白症の一例, 第79回呼吸器合同北陸地方会, 富山, 20171111
- 1730071** 銭丸康夫, 浦邊真知, 埴山沙織, 中屋隆裕, 山田実夏, 市川麻衣, 佐藤さつき, 今川美智子, 鈴木仁弥, 此下忠志: 重症成人成長ホルモン分泌不全症を合併したクラインフェルター症候群の一例, 第17回日本内分泌学会北陸支部学術集会, 福井, 20171103
- 1730072** 山田実夏, 銭丸康夫, 浦邊真知, 埴山沙織, 中屋隆裕, 市川麻衣, 佐藤さつき, 今川美智子, 鈴木仁弥, 石塚 全, 此下忠志: 診断時に無痛性甲状腺炎を併発し、複数の膵島関連自己抗体を有したAPS3型の一例, 第91回日本糖尿病学会中部地方会, 金沢, 20171014

d. 一般講演（ポスター）

1730073

重見博子，石塚 全，田居克規，伊藤和広，山内高弘，室井洋子，松山千夏，岩崎博道：血液内科病棟で発生したアスペルギルス症診断の後方視的検討，第61回日本医真菌学会総会，金沢，20170930

e. 一般講演

1730074

中屋隆裕：意識障害、不随意運動で救急搬送されたS I A D Hの一例，第17回日本内分泌学会北陸支部学術集会TeaTimeSession，福井，20171103

1730075

梅田幸寛，安齋正樹，佐藤譲之，杉山光寿，中嶋康貴，三ツ井美穂，島田昭和，本定千知，重見博子，門脇麻衣子，早稲田優子，森川美羽，石塚 全，佐々木正人，出村芳樹：肺癌リンパ節転移診断におけるEBUS-TBNAの適応に関する検討，第72回日本肺癌学会北陸支部学術集会，福井，20170708

1730076

佐藤譲之，安齋正樹，三ツ井美穂，杉山光寿，中嶋康貴，島田昭和，本定千知，門脇麻衣子，重見博子，森川美羽，梅田幸寛，早稲田優子，石塚 全，岡田晃斉，左近佳代，佐々木正人：放射線療法とアレクチニブに抵抗性に囊胞性脳転移病変が増大し、外科的治療に追加を要した粘液産生性ALK陽性肺癌の一例，第72回日本肺癌学会北陸支部学術集会，福井，20170708

1730077

鈴木仁弥，佐藤さつき，今川美智子，森川美羽，梅田幸寛，銭丸康夫，安齋正樹，此下忠志，石塚 全：非小細胞肺癌患者におけるニボルマブ投与後の甲状腺機能の検討，第232回日本内科学会北陸地方会，富山，20170618

1730078

杉山光寿，梅田幸寛，島田昭和，佐藤譲之，中嶋康貴，三ツ井美穂，山口牧子，本定千知，重見博子，門脇麻衣子，森川美羽，早稲田優子，安齋正樹，石塚 全：気管支喘息発作治療中にたこつぼ心筋症を合併した一例，第78回呼吸器合同北陸地方会，新潟，20170527

1730079

中嶋康貴，森川美羽，本定千知，佐藤譲之，杉山光寿，三ツ井美穂，島田昭和，山口牧子，門脇麻衣子，重見博子，梅田幸寛，早稲田優子，安齋正樹，石塚 全：アレルギー性気管支肺真菌症に酷似する所見を得た薬剤性好酸球性気管支炎の1例，第78回呼吸器合同北陸地方会，新潟，20170527

f. その他

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

1730080

石塚全：EGFR肺癌を攻める，Lung cancer conference in 福井，福井，20180316

1730081

石塚全：癌性疼痛管理に関する最新の話題，第27回白山カンファレンス，石川，20180127

1730082

早稲田優子：膠原病の肺合併症～全身の病態から肺を考える～，福井県内科臨床懇話会－特別講演会－，福井，20180120

1730083

此下忠志：健康寿命の延伸を目的とした降圧療法－ARBに追加すべきカルシウム拮抗薬の選び方－，北摂N型カルシウムチャネル研究会，大阪，20171221

1730084

石塚全：COPDに漢方を用いる一症状とQOLの改善を目指して－，呼吸器KAMPO講演会，福井，20171207

1730085

早稲田優子：全身性強皮症の肺合併症，第9回若手のためのびまん肺勉強会，大阪，20171217

1730086

此下忠志：内分泌学における老年医学基礎から臨床まで，第17回日本内分泌学会北陸支部学術集会，福井，20171103

1730087

此下忠志：透析導入予防のための糖尿病治療，第1回福井糖尿病臨床懇話会，福井，20171207

1730088

鈴木仁弥：”あぶら”を管理する，九頭竜カンファレンス2017inWinter，福井，20171115

1730089

石塚全：AMR対策とワクチンの重要性・ストップ！肺炎～超高齢社会での予防の重要性～，FUKUI VACCINE SEMINAR 2017，福井，20170921

1730090

此下忠志：心腎血管病予防のための高血圧診療，N型カルシウムチャネル研究会，東京，20170915

1730091

此下忠志：糖尿病における脂質管理 UP DATE，循環器・糖尿病ジョイントミーティングin福井，福井，20170606

1730092

石塚全：重症喘息治療の新展開～薬物療法と気管支サーマーンプラスティの適応～，第2回Scientific Exchange Meeting in Sapporo(TC)，札幌，20170705

1730093

此下忠志，Endocrinology Forum，福井，20170526

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

1730094

此下忠志：GLUT9 遺伝子多型とレニン－アンジオテンシン系活性化，第3回北陸高尿酸血症セミナー，金沢，20180303

e. 一般講演

1730095

俣山沙織：SGLT2阻害薬の臨床効果，第5回福井呼吸器・内分泌代謝学術講演会，福井，20180303

1730096

本定千知：C型レクチンMincleとIgE受容体β鎖およびγ鎖との会合はチロシンキナーゼSykを介してRBL-2H3細胞の機能的活性化を導く，第5回福井呼吸器・内分泌代謝学術講演会，福井，20180303

1730097

安齋正樹：進行非小細胞肺癌患者における殺細胞性抗癌剤の二次治療としてのアルブミン懸濁型バクリタキセル鋼材治療の有効性と安全性の検討，第5回福井呼吸器・内分泌代謝学術講演会，福井，20180303

1730098

鈴木仁弥：心筋Perilipin2の過剰発現は”dynamic steatosis”を誘導する，第5回福井呼吸器・内分泌代謝学術講演会，福井，20180303

1730099

早稲田優子：膠原病の呼吸器内科的アプローチ，第18回リウマチ医のための画像診断研究会，出雲，20180322

1730100

三ツ井美穂：クリオフィブリノーゲン血症を合併した間質性肺炎の一例，第27回白山カンファレンス，石川，20180127

1730101

石塚全：気管支喘息UPtoDATE，七尾市医師会学術講演会，七尾市，20171219

1730102

此下忠志：臓器寿命を伸ばすための降圧療法－レニン－アンジオテンシンの系の観点から－，兵庫県N型カルシウムチャネル講演会，神戸，20171214

業績一覧

- 1730103** 石塚全：COPD診療のトピックス，日本内科学会北陸支部第73回生涯教育講演会，福井，20180318
- 1730104** 早稲田優子：胸部X線写真の読影ポイント：Mach bandの応用と肺縦隔境界面の読影法，第33回九州臨床画像解析研究会，福岡県飯塚市，20171110
- 1730105** 早稲田優子：びまん性肺炎患における最近の話題，IPF Forum in Fukui，福井，20171114
- 1730106** 銭丸康夫：新規糖尿病治療薬を用いた薬物療法の実践，福井糖尿病病診連携懇話会，福井，20171109
- 1730107** 重見博子：悪性腫瘍患者に合併する発熱性好中球減少症へのゾシンの有効性，第24回敗血症研究会，福井，20171010
- 1730108** 此下忠志：糖尿病患者さんのQOL保持の為に薬剤選択～下肢切断等の合併症を減らす為に～，坂井地区 足を学ぶ会，あわら市，20171110
- 1730109** 俣山沙織：レニン-アンジオテンシン系遺伝子多型と糖尿病性腎症の関連解析，第2回福井臨床糖尿病研究会，福井，20171012
- 1730110** 俣山沙織：糖尿病とレニン・アンジオテンシン系遺伝子，第12回福井RAS研究会，福井，20171005
- 1730111** 早稲田優子：IgG4関連肺疾患モデルマウスの確立-LatY136Fknock-inマウスの肺病変の解析-，第56回福井呼吸器シンポジウムFITS，金沢，20170922
- 1730112** 此下忠志：患者さんの臓器寿命を保持するための降圧薬の選択-レニン・アンジオテンシン系の観点から-，福井市薬剤師会 生活習慣病学術講演会，20170629
- 1730113** 石塚全：気管支鏡喘息治療の最新知見，敦賀市医師会学術講演会，敦賀，20170524
- 1730114** 此下忠志：糖尿病患者さんの生活の質保持の為に～今すぐできるやるべきこと～，大正富山医薬品株式会社「学術研修センター勉強会」，名古屋，20170406
- f. その他**
- 1730115** 此下忠志：RAASからみたARBと併用すべきCCB，全国N型Caチャネル研究会，東京，20180217

(C) 特許等

区分	内容（発明の名称）	発明者又は考案者
----	-----------	----------

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	期間（年度）	金額（配分額）
区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	期間（年度）	金額（配分額）
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	IgG4関連肺疾患の病変形成に関与するTh2サイトカイン阻害の影響	早稲田 優子		2017	1040000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	アンジオテンシン1V受容体の新規高感度測定系による分子遺伝学的ならびに臨床的評価	此下 忠志		2017	1560000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	プロトン感知性受容体OGR1の慢性気道炎症、気道分泌への関与に関する研究	石塚 全		2017	1560000

(B) 奨学寄附金

受入件数	38
受入金額	17400000

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
----	---------	-----	-----	-----

(B) 学会の委嘱

学会の名称	役職	氏名
-------	----	----

(C) 座長

国内学会	学会名	氏名
------	-----	----

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	委員長（主査）・委員	氏名
----------	------------	----

(E) その他

- 1730116** JR. Ussher, JE. Campbell, EE. Mulvihill, LL. Baggio, HE. Bates, BA. Mclean, K. Gopal, M. Capozzi, B. Yusta, X. Cao, S. Ali, M. Kim, MG. Kabir, T. Seino, J. Suzuki, Dj Drucker: 2017年度後期優秀論文賞（医学研究推進室），Inactivation of the Glucose-Dependent Insulinotropic Polypeptide Receptor Improves Outcomes following Experimental Myocardial Infarction., 2017